

令和6年度

高松市美術館協議会資料

美術館美術課

令和5年度事業報告

目 次

1 高松市美術館

(1) 展覧会・貸館	1
(2) 教育普及活動	3
(3) 芸術的催し物	9
(4) 施設の提供	10
(5) 美術資料の収集等	10
(6) 美術館ボランティアの活動	14
(7) 高松市美術館サポートショップ事業	14
(8) ブランチギャラリー	14
(9) 新型コロナウイルス感染症対策	15
(10) ICTの活用	15
(11) キャッシュレス化	15
(12) 自己評価	15
(13) 「瀬戸芸美術館連携」プロジェクト	15

2 高松市塩江美術館

(1) 展覧会・貸館	16
(2) 教育普及活動	17
(3) 芸術的催し物	19
(4) 公有財産目的外使用（貸出）	19
(5) 美術資料の収集	19
(6) 新型コロナウイルス感染症対策	19
(7) 自己評価	19

令和6年度事業計画

1 高松市立美術館運営方針	21
2 高松市美術館	22
3 高松市塩江美術館	26
4 令和6年度予算	28

令和5年度事業報告

1 高松市美術館

年間利用者数等 164,005人（開館日数 309日）

（1） 展覧会・貸館

美術館主催展として「特別展」及び「コレクション展」を開催するとともに、貸館として一般展示室・企画展示室及び市民ギャラリー等を美術団体・個人や小グループ等の利用に供した。

ア 展覧会

- ・開催展数 61展（第41回日本伝統漆芸展・貸館を含む）
- ・開催日数 695日間
- ・入場者数 116,943人（1日平均 168.3人）

（ア） 特別展

- ・開催展数 4展
- ・開催日数 188日間
- ・入場者数 44,297人（1日平均 235.6人）

展覧会名	会期	日数(日)	入場者数(人)	展覧会の内容
フィンランドのライフスタイル～暮らしを豊かにするデザイン～	4/15(土)～6/11(日)	50	16,195	20世紀初頭から、ものづくりにおいて自然との調和を重視してきたフィンランドの代表的なデザイナーたちの作品を展示した。 アルヴァ・アアルトやイルマリ・タピオヴァーラを始めとする巨匠デザイナーの名作椅子の他、カイ・フランクやオイバ・トイッカ、石本藤雄など、陶器、ガラス、テキスタイル等の生活用品約800点と、それら優れたデザインを生み出したフィンランドの豊かな暮らしを紹介した。
上田薫展	7/15(土)～9/18(月・祝)	57	10,387	なま玉子やゼリーなど身近なモチーフを超写実的に描く上田薫(1928年東京生まれ)の初期作品から最新作までを紹介した。 70年代に入り写真を使って対象を精巧に描き出す独自の写実表現を確立した上田のリアルを追求した作品は、情報技術が進み写真や映像の表現が進化し続けている現代においても、新しい視点で観客の目を楽しませてくれる。多彩な表現を続ける上田の描くことへのあくなき興味と挑戦を感じてもらえた。
令和5年度国立美術館巡回展 20世紀美術の冒険者たち -名作でたどる日本と西洋のアート	9/30(土)～11/19(日)	44	6,662	1952年に開館した東京国立近代美術館は、約70年にわたって日本近現代美術の収集と歴史化に努め、日本の美術界をリードしてきた。本展では、西洋の動向を交えつつ日本の近現代美術の軌跡を東京国立近代美術館所蔵の洋画・彫刻コレクションによって展観した。 岸田劉生、藤田嗣治、岡本太郎、ピカソ、カンディンスキーら東西の巨匠による名品の数々を紹介すると同時に、巡回館である熊本県立美術館と当館所蔵の関連作品も併せて展示した。

川瀬巴水展 旅と郷愁の風景	1/24(水) ～3/6(水)	37	11,053	大正から昭和にかけて活躍した木版画家・川瀬巴水(1883～1957〔明治16～昭和32〕年)。近代化の波が押し寄せ、街や風景が目まぐるしく変貌していく時代に、巴水は日本の原風景を求めて全国を旅し、庶民の生活が息づく四季折々の風景を描いた。初期から晩年までの代表的な作品など約180点により叙情的な巴水の風景世界へと誘った。
合計		188	44,297	

(イ) コレクション展

- ・開催展数 5展
- ・開催日数 252日間
- ・入場者数 26,397人(1日平均 104.8人)

展覧会名	会期	日数(日)	入場者数(人)	展覧会の内容
第1期	4/6(木) ～6/18(日)	64	8,071	常設1 いろいろな線 常設2 金工の美 大須賀喬と大須賀選
第2期	6/24(土) ～9/18(月・祝)	75	8,223	常設1 物語る―記録、ストーリー、歴史 常設2 師弟と家族―太田儔を中心に
第3期	9/23(土・祝) ～11/12(日)	44	5,347	常設1 川島猛展 常設2 漆と色彩 ―讃岐漆芸にみる顔料の革新
第4期	11/15(水) ～2024年1/20(土)	53	3,224	常設1 ワタシを見つめて 常設2 100の香合 こんまい世界
第5期	3/9(土) ～3/27(水)	16	1,532	常設1 第41回日本伝統漆芸展 常設2 追悼 磯井正美展 ―伝統から創造へ
合計		252	26,397	

イ 貸館

(ア) 一般展示室・企画展示室

- ・開催展数 17展
- ・開催日数 72日間
- ・入場者数 26,665人(1日平均 370.3人)

展覧会名	会期	日数(日)	入場者数(人)	展覧会の内容
第49回高松市民美術展	4/4(火)～4/9(日)	6	1,280	各会の会員の作品
第15回記念展 一榮会書展	6/16(金)～6/18(日)	3	861	同会会員の書の作品
第30回由源香川書展	6/17(土)～6/18(日)	2	2,214	同会会員の書の作品
独立美術四国会展	6/27(火)～7/2(日)	6	516	同会会員の絵画の作品
島田三光コレクション 生誕150年 河東碧梧桐展	7/4(火)～7/9(日)	6	1,234	河東碧梧桐の作品及び 関連資料
第64回墨華書道展	11/24(金) ～11/26(日)	3	1,450	同会会員の書の作品
第4回想いをカタチに今できること 美術公募展2023	12/8(金) ～12/10(日)	3	613	主催者の公募作品
2023 香川県美術家協会展	12/12(火) ～12/17(日)	6	1,179	同会会員の作品

第50回毎日書道学会展	12/22(金) ～12/24(日)	3	770	同会会員の書の作品
令和5年度高松市教育文化祭 展覧会	1/12(金) ～1/14(日)	3	5,145	市内小・中学校児童・生徒の作品
令和5年度香川県小・中学校 総合文化祭 展覧会	1/12(金) ～1/14(日)	3	5,540	県内小・中学校児童・生徒の作品
第40回香川県高等学校総合 文化祭 美術・工芸展	1/18(木)～1/21(日)	4	987	県内高校生の美術・工芸作品
第40回香川県高等学校総合 文化祭 書道展	1/18(木)～1/21(日)	4	938	県内高校生の書の作品
第10回ふるさと美術展	1/24(水)～2/4(日)	11	1,882	よんでん文化振興財団 奨学生の作品
第19回讃岐入木会展	2/9(金)～2/11(日)	3	668	同会会員の書の作品
第32回道香社書作展 (併催 ジュニア書展)	2/23(金)～2/25(日)	3	684	同会会員の書の作品
言の葉書会展 井上志幽書展 絵に書を 志幽・義子展	3/1(金)～3/3(日)	3	704	同会会員の書画の作品
合計		72	26,665	

(イ) 市民ギャラリー

- ・開催展数 34展
- ・開催日数 183日間
- ・入場者数 19,584人(1日平均 107人)

(2) 教育普及活動

特別展の開催に併せて、展示のテーマに沿った記念講演会やトーク等を開催した。また、子どもから大人まで幅広い世代を対象に各種ワークショップ等を開催した。

ア 記念講演会等

開催日	講師・出演者	内容	参加者数(人)
4/15(土)	石本藤雄 (テキスタイルデザイナー、陶芸家) 平井千里馬(スコープ代表)	記念対談 「フィンランドの記憶」	574 (464)
5/20(土)	植村友香子 (香川大学特命准教授、香川フィンランド協会常任理事)	記念講演 「日本語を学ぶフィンランド人、フィンランドからみた日本」	348 (244)
7/15(土)	上田葉子(キルト作家、上田薫妻) 横井孝蔵(光と緑の美術館)	記念対談 「上田薫の絵画」	214 (164)
9/30(土)	佐原しおり (東京国立近代美術館研究員)	記念講演会 「あなたは誰？描かれた「モデル」から読み解く近現代美術」	226 (161)
1/28(日)	岩切信一郎(美術史家)	記念講演会 「川瀬巴水の版画世界」	148
合計			1,510 (1,033)

※参加者数()は、参加者数のうち、ライブ配信視聴者数

イ アートアドバイザー講座

開催日	講師	内容	参加者数(人)
12/23(土)	原 久子 (当館アートアドバイザー)	自画像をめぐって	43
3/20(水・祝)		風景画による旅	21
合計			64

ウ ギャラリートーク

(ア) 特別展

展覧会名	開催日	担当者	参加者数(人)
フィンランドのライフスタイル展	4/16(日)	担当学芸員	51
上田薫展	7/16(日) 8/12(土)	担当学芸員	54
国立美術館巡回展	10/1(日)	担当学芸員	30
川瀬巴水展	2/4(日)	担当学芸員	70
第41回日本伝統漆芸展 ＊列品解説	3/16(土)	藪内江美 (日本工芸会正会員)	27
第41回日本伝統漆芸展 ＊列品解説	3/23(土)	石原雅員 (日本工芸会正会員)	24
合計			256

※参加者数は展覧会入場者数と重複

(イ) コレクション展

展覧会名	開催日	担当者	参加者数(人)
第1期	6/3(土)	担当学芸員	12
第2期	9/2(土)	担当学芸員	20
第3期	10/21(土)	担当学芸員	36
第3期	11/4(土)	担当学芸員	13
第4期	11/18(土)	担当学芸員	21
第5期	3/17(日)	担当学芸員	12
合計			114

※参加者数は展覧会入場者数と重複

エ ワークショップ

開催日	講師	内容	対象	場所	参加者数(人)
7/16(日) 午前／午後	松尾真由美 (美術家)	スプーンのなかの世界	小学生以上	講座室	33
7/22(土)	小川信治 (美術家)	SHINJINGで絵を描こう!	小学生以上	講座室	11
10/14(土)	小笠原新也 (耳の聞こえない鑑賞 案内人)	かく・みる冒険 筆談鑑賞	小学生以上 〈＊1〉	講堂 ほか	8

10/15(日)	進行 朝倉茂樹（香川県立 視覚支援学校教員） アドバイザー 日野陽子（京都教育 大学美術科准教授）	みるって何だろう？ —見えない・見えにくい人 と共に行う美術鑑賞会	中学生以上 〈＊2〉	講堂 ほか	18
12/10(日)	照沼敦朗（美術家）	照沼敦朗「ペーパーア ニメーション」	小学生	講座室	9
2/10(土)	下村宏（版画家）	陰刻版画に挑戦！	小学4年生以上	講座室	15
2/18(日)	辻野由樹 （イラストレーター）	ココロ絵日記「さんき ゅうサンキュー」を描 こう！	高校生以上	講座室	9
2/24(土) 午前／午後	谷由貴（芸術士）	春色のきもちを絵がこ う！	年中～小学1 年生及び概 ね65歳以上	講座室	58
3/3(日)	野村誠（音楽家）	サヌカイトを鳴らして 美術館の開館・閉館音 楽づくりに参加しよう！	どなたでも	講堂	56
3/10(日) 午前／午後	うにのれおな （イラストレーター）	クレヨン☆スクラッチ でかこう！	5歳～小学生	講座室	24
3/30(土)	平子雄一 （現代美術家）	地産のものを使って、 身の回りにある大切な ものを描こう！	小学生以上	講座室	28
合計					269

〈＊1〉 どなたでも（聞こえない人、聞こえにくい人など）

〈＊2〉 どなたでも（見えない人、見えにくい人など）

オ 子どものアトリエ

開催日	講師	テーマ	対象	場所	参加者数(人)
7/23(日) 午前／午後	さとうゆうじ （美術家）	サカナ型彫刻をつくろう！	小学生以上	講座室	33
10/29(日) 午前／午後	小松智香 （版画家）	ハロウィンおばけな紙版画 を刷ろう！	午前：5歳～ 小学2年生 午後：小学3 年生以上	講座室	18
合計					51

カ ふらっとアート

子どもを始め、来館者が気軽にアートを楽しむことのできる空間として、2016年のリニューアルにより中2階に新設された「こども^{プラス}（こどもアートスペース）」において、様々なアートプログラムを開催。

※毎週木・土曜日（12：00～16：00）は、学芸員が在室

（ア） 「こども^{プラス}（こどもアートスペース）」利用者数 5, 345人
（プログラム参加者数を含む）

(イ) アートプログラム

開催期間	内 容	参加者数(人)
4/15(土)～6/11(日)	ペーパーストローでヒンメリをつくろう	2,295
7/15(土)～9/18(月・祝)	パカッと玉子カードをつくろう	627
10/3(火)～10/31(火)	ガイコツ飾りをつくろう！	300
11/1(水)～1/8(月・祝)	グリーティングカードをつくろう！	553
1/24(水)～3/6(水)	ハンコでつくる屋島カレンダー	1,244
合計		5,019

キ イベント（企画展・公開制作・パフォーマンスなど）

開催日	出演・講師等	内容	場所	参加者数(人)
4/15(日) 午前／午後	石本藤雄（テキスタイルデザイナー、陶芸家） 平井千里馬（スコープ代表）	サイン会	エントランスホール	138
5/6(土)	当館学芸員	こども鑑賞プログラム	2階展示室、こども+	4
5/27(土)	木内ひとみ（日本ノルディックフィットネス協会ベシクインストラクター、香川フィンランド協会会員）	はじめての「ノルディック・ウォーキング」	高松市中央公園ほか	4
6/22(木)	当館学芸員	出張美術館	牟礼コミュニティセンター	60
7/3(月)	当館学芸員	出張美術館	山田総合センター	46
7/15(土) ～9/18 (月・祝)		特別企画 「小川信治展 Better Half 回帰の手法」	展示ロビー、図書コーナー、ランチギャラリー	—
7/16(日)	協力：託児ボランティア あゆみ	託児サービス (上田薫展)	こども+	4
9/23(土・祝) ～11/12(日)		高松市美術館35周年記念特別企画「川島猛展」	エントランスホール	—
11/8(水) 午前／午後	細谷美宇 (東京国立近代美術館研究員)	国立美術館巡回展 東京国立近代美術館の対話鑑賞プログラム「ギャラリートーク」	2階展示室	※18
11/11(土)	進行役： 東京国立近代美術館 ガイドスタッフ	国立美術館巡回展 東京国立近代美術館の対話鑑賞プログラム「オンライン鑑賞会」	オンライン	14
11/19(日)	野村誠（音楽家）	記念パフォーマンス	2階展示室 (塩江美術館)	26 (*20)
11/25(月)	当館学芸員	リングワンデルングを歩く（大島）	大島	3
2/18(日)	摺り：渡辺英次(摺師) 解説：渡邊章一郎（渡邊木版美術画舗代表取締役）	新版画の摺りの実演	エントランスホール	227

3/3 (日)	出演：野村誠 (ピアノ) 鍵盤ハーモニカほか) 加藤綾子 (ヴァイオリン) 臼杵美智代 (サヌカイト) 高松市立国分寺・山田中学校合唱部	「高松市美術館開館35周年記念」野村誠コンサート「音楽の未来を作曲する～サヌカイト／即興／村山簫子	エントランスホール	230
合計				756

*塩江美術館と重複

ク 出前講座等 (館外でのアウトリーチ活動等)

開催日	講師	内容	開催場所	参加者数 ^(人)
9/6(水)	当館 学芸員補	アートで遊ぼう！	NP0法人川東校区コミュニティ協議会	36
9/20(水)			栗林地区老人クラブ連合会	43
12/5(火)			高松市生涯学習センター	7
12/12(火)			(まなびCAN)	8
2/8(木)			社会福祉法人 高松市社会福祉協議会 香川	10
2/13(火)			社会福祉法人 高松市社会福祉協議会 香南老人介護支援センター	23
3/13(水)			社会福祉法人 高松市社会福祉協議会 高齢者支援推進事業	20
合計				147

ケ 美術館学習等

サンクリスタル学習等と連携させた美術館での鑑賞・施設学習を実施した。

サンクリスタル学習参加校のうち、引き続き美術館での学習を希望する小学校を受け入れ、展覧会の団体鑑賞や施設見学を行った。(サンクリスタル高松から美術館の間の交通費を負担)

- ・実施期間 令和5年6月7日～令和6年1月12日
- ・参加校等 高松市立小学校 14校
- ・参加者数 960人 (引率者を含む)

※サンクリスタル学習以外の美術館学習

- ・参加校 (小・中・高等学校等) 47校
- ・参加者数 1,480人

コ 学校との連携事業

特別展鑑賞後、学校と美術館の活用について意見交換を行ったほか、作家の作品を学校に持参して鑑賞プログラムの展開や、イベントに関連した作品制作をした。

実施日	内容	参加者	開催場所	参加者数(人)
4/6(木)～ 7/22(土)	前期授業「芸術文化」 (全15回)	高松短期大学秘書科学生	高松大学、美術館	—
4/30(月)	学校と美術館のためのプログラム	教員ほか	美術館講堂、 展示室	2
6/26(月)	おでかけ美術館	下笠居小学校5・6年生	学校	86
6/27(火)	おでかけ美術館	亀阜小学校6年生	学校	90
7/27(月)	香川県中学校教育研究会 美術部会高松支部「夏季実 技研修会」	市立中学校美術教員	美術館講堂・ 展示室	24
9/1(金)～ 10/31(火)	ハロウィン・フォトスポッ トの制作及び展示	勝賀・玉藻・古高松中学校 美術部員	各学校・ 市美術館	87

2/19(月)	おでかけ美術館	鶴尾小学校3年生	学校	23
2/27(火)	おでかけ美術館	下笠居小学校3・4年生	学校	70
3/1(金)	おでかけ美術館	紫雲中学校美術部員	学校	19
3/6(水)	おでかけ美術館	亀阜小学校3・4年生	学校	175
合計				576

サ 美術館の日（8月第1土曜日）

市民がより美術に親しみ、豊かな心を育めるよう、また、高松市美術館が昭和63年8月6日（土）に開館したことにちなみ、8月の第1土曜日を「美術館の日」と定め（平成21年7月）、多くの市民が集い、楽しみ、にぎわう美術館となるよう観覧料の免除や親子で楽しめるイベント「ふらっとアート」などを実施した。（令和5年度は8月5日）

主な事業等	観覧者等数(人)	
特別展	観覧者	1,262
コレクション展	観覧者	837
展示室での鑑賞を促す鑑賞カード	利用者	391
ふらっとアート	参加者	241
ミニコンサート	鑑賞者	156

※参加者数は展覧会入場者数と重複

シ 博物館実習・インターンシップ・職場体験等

実施日	内容	参加者	参加者数(人)
7/5(水)～7/7(金)	インターンシップ	香川県立高松工芸高等学校	6
8/1(火)～8/6(日)	博物館実習	甲南女子大学ほか8大学	9
8/9(水)～8/13(日)	高松市役所インターンシップ	香川大学	2
11/7(火)～ 11/23(木・祝)	臨地実務実習	せとうち観光専門職短期大学	2
9/14(金)～10/6(金)	職場体験	中学校5校	11
11/9(木)	高松市新規採用職員研修会	新規採用職員	40
合計			70

ス 美術館友の会イベント

開催日	事業名	参加者数(人)
8/5(土)	消しゴム版画ワークショップ	27
8/5(土)	消しゴム版画体験コーナー	40
10/22(日)	鐵百合奈&佐藤采香 デュオコンサート	166
11/23(木・祝)	美術鑑賞旅行「広島アート紀行」 (広島県立美術館及び下瀬美術館)	42
合計		275

※会員数 158人
(R6.3.31 現在)

セ 動画配信「おうちでアート」

新たな美術鑑賞の手法として、展覧会作品解説や簡単な作品作りのほか、講演会や講座「まぶさび教室」などを動画配信した。※令和2年5月28日から公開開始

公開月（1か月間）	配信本数（本）	視聴者数(人)
4月	2	1,297

5月	0	1,811
6月	1	1,899
7月	0	1,823
8月	1	1,628
9月	0	1,215
10月	0	964
11月	0	978
12月	3	1,082
1月	1	1,358
2月	1	1,233
3月	1	1,067
合計	10	16,355

(3) 芸術的催し物

ア ミニコンサート等

特別展会期中に、県内演奏家等によるミニコンサートをエントランスホールで開催した。

開催日	行事名	監修・出演等	関連する展覧会	参加者数(人)
6/3(土)	Earth～光と影の交錯する大地への祈り	藤田哲志 (フルート) 松繁哲朗 (サクソ) 林千景 (マリンバ) 大山まゆみ (ピアノ)	フィンランドのライフスタイル展	230
8/5(土)	Soundscapes in Summer	香川大学ウィンド・アンサンブル	上田薫展	156
10/7(土)	Les vents de la musique modern (近代音楽の風)	見垣佑介 (ファゴット) 長岡佐和、小林遼香 (ピアノ) 三好結愛 (フルート) 青山夕夏 (監修/フルート)	国立美術館巡回展	82
2/24(土)	美しき日本の心を歌う～日本の四季を巡って～	藤田哲志 (フルート) 三木ユリ (メゾソプラノ) 三木伸哉 (バリトン) 大山まゆみ (ピアノ)	川瀬巴水展	208
合計				676

イ エントランスホール活用事業 (公募企画)

エントランスホールの活用を図り、来館者に気軽に文化芸術に触れてもらうため、コンサートやダンス公演等で同ホールを利用する団体を募集した。(初年度 令和4年度)

開催日	行事名	主催団体	参加者数(人)
11/25(土)	*ひびきの空間と目 (出演：藤原清登及び伊藤千枝子)	Gargantua	77
12/3(日)	*音楽のミニアチュール クリスマスコンサート	高松交響楽団	363
12/9(土)	高松市美術館で踊る社交ダンスのひととき	高松市社交ダンス同好会	127
12/24(日)	Fasshon Collaboration 2023 ファッションショー (2回公演)	吉田愛服飾専門学校	371

1/20(土)	*Saxophone Ensemble Concert	ダッパースクセー バーズ	217
3/10(日)	*栗っ子コーラスコンサート ～みんなの歌で笑顔のわを広げよう～	栗林小学校合唱部	279
3/16(土)	*高松から世界旅行 (出演：青柳妃姫及びかとうかなこ)	高松から世界旅行実 行委員会	102
3/17(日)	*美術館コンサート －和楽器で描く四季の風景－	邦楽アンサンブル煌	217
3/24(日)	*祈りの音楽 (出演：片山智夫及び藤川孝子)	ブルーエン・アンサ ンブル	45
合計			1,798

*は、コンサート

(4) 施設の提供

講堂を講演会・コンサート等の会場に、講座室を創作活動の場として利用に供した。また、美術図書コーナーを一般利用者に開放した。

施設名	利用回数等	利用者数 (人)
講堂	44 (回)	2,287
講座室	398 (回)	5,681
美術図書コーナー	309 (日)	8,762
合計		16,730

(5) 美術資料の収集等

ア 収集の方針

収集対象を香川の美術と戦後の美術に大きく分け、香川の美術では、伝統的な漆工と金工に重点を置いて収集する。また、戦後の美術では、国内作家については、1945年以降の現代美術に的を絞り、外国作家は日本の戦後美術史の流れに多大な影響を与えた20世紀初頭から現代に至る作品を版画で系統的に収集する。

イ 美術資料等の収集

美術品の収集方針に基づき、当館に収蔵する美術品を計画的・系統的に購入したほか、寄贈による美術品の収集に努める。また、二次資料として美術図書及び映像資料を継続的に収集する。

(美術品)

(単位：点)

区分		洋画	日本画	彫刻	工芸	書	計
5 令和 年度	購入	1	—	1	1	—	3
	寄贈	5	—	1	1	—	7
合計		6	—	2	2	—	10
累計		837	46	275	600	16	1,774
内 訳	購入	662	24	242	397	12	1,337
	寄贈	175	22	33	203	4	437

(図書)

(単位：冊)

区分	購入	寄贈	除籍	計	累計
美術図書	98	143	0	241	33,533

展覧会図録	6	690	0	696	20,736
合計	104	833	0	937	54,269

■新規収蔵作品

区分	種別	作品名（制作年）	作家名
購入	平面・油彩	液体（1991年頃）	上田 薫
	立体・彫刻	デコレータークラブ ―0人もしくは1人以上の観客に向けて（2024年）	飯川 雄大
	工芸・漆工	「山滴る」蒔醬箱（2014年）	山下 義人
寄贈	平面・油彩	皿の上の炎（1988年）	上田 薫
	平面・油彩	cosmic dust gold（2008年）	鬼頭 健吾
	平面・素描ほか	今朝の海（1990年頃）ほか7点	野見山 暁治
	平面・版画	Tadanori Yokoo（西村画廊）（1986年）	横尾 忠則
	立体・彫刻	デコレータークラブ ―ベリーヘビーバッグ（2024年）	飯川 雄大
	工芸・陶芸	Brown（1992年）	林 康夫
	平面・版画	バスローブ（1964年）	ジム・ダイン

ウ 作品貸出実績

「超絶技巧、未来へ！ 明治工芸とそのDNA」展に稲崎栄利子作「現像」を貸出したのを始め
12展覧会に合計58点作品を貸出した。

1	超絶技巧、未来へ！ 明治工芸とそのDNA 貸出先 岐阜県現代陶芸美術館 貸出期間 2023/2/11～4/9 長野県立美術館 2023/4/22～6/18 あべのハルカス美術館 2023/7/1～9/3 三井記念美術館 2023/9/12～11/26 富山県水墨美術館 2023/12/8～2024/2/4		
(1)	稲崎 栄利子	現像	2018
2	Re：スタートライン 1963-1970/2023 現代美術の動向展シリーズにみる美術館とアーティストの共感関係 貸出先 京都国立近代美術館 貸出期間 2023/4/28～7/2		
(1)	ヨシダ ミノル	JUST CURVE '67 Cosmoplastic	1967
(2)	柏原 えつとむ	Silencer 68-1	1968
(3)	山本 圭吾	別世界への旅	1968
3	境界をこえる 貸出先 徳島県立近代美術館 貸出期間 2023/4/29～6/18		
(1)	今井 俊満	夜の讃歌	1956
(2)	白髪 一雄	地威星百勝将韓滔	1961
(3)	松谷 武判	WORK65-1	1965
(4)	木村 忠太	トスカナ（シエナ郊外）	1965
(5)	李 禹煥	線より	1976
(6)	福田 美蘭	陶器	1992
(7)	福田 美蘭	ゼフィロスから見たクロリスとフローラと三美神	1992
(8)	小林 孝亘	Dishes	1997
(9)	山口 晃	大山崎交通之圖	2008

4	デザインに恋したアート♡アートに嫉妬したデザイン 貸出先 大阪中之島美術館 貸出期間 2023/4/15～6/18		
(1)	村上 隆	Red Rope	2001
(2)	小川 信治	Love letter	2006
(3)	イチハラ ヒロコ	恋する美術だ。	2006
(4)	イサム・ノグチ	山つくり	1982
(5)	草間 彌生	無題（金色の椅子のオブジェ）	1966
(6)	田名網 敬一	Art expo New York	1985
(7)	赤瀬川 原平	大日本零円札	1967
(8)	宮島 達男	Time in Blue No.16	1996
(9)	高松 次郎	影時計	1969
(10)	小谷 元彦	Hollow: Duplex	2009
5	中園孔二 ソウルメイト 貸出先 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 貸出期間 2023/6/17～9/18		
(1)	中園 孔二	無題	2012 -2013頃
(2)	中園 孔二	無題	不詳
6	走泥社再考 前衛陶芸が生まれた時代 貸出先 京都国立近代美術館 貸出期間 2023/7/19～9/24 岐阜県美術館 2023/12/19～2024/2/18 岡山県立美術館 2024/2/27～4/7 菊池寛実記念智美術館 2024/4/20～9/1		
(1)	山田 光	作品	1958
(2)	山田 光	白の間隙	1971
(3)	林 康夫	作品'67-11	1967
(4)	佐藤 敏	カブトマン	1971
(5)	佐藤 敏	ビットママ	1971
(6)	三輪 龍作	LOVE	1969
7	令和5年度国立美術館巡回展 20世紀美術の冒険者たち—名作でたどる日本と西洋のアート 貸出先 熊本県立美術館 貸出期間 2023/7/22～9/18		
(1)	斎藤 義重	カラカラ	1973 (原作 1936)
(2)	猪熊 弦一郎	鳥と少女	1939
(3)	木村 忠太	昭和20年8月15日のコンポジション	1945
(4)	木村 忠太	トスカナ風景（シエナ郊外）	1965
(5)	池田 龍雄	未開地	1958
(6)	北代 省三	カストゥールとポルックス	1948
(7)	白髪 一雄	地威星百勝将韓滔	1961
(8)	田中 敦子	作品	1962
(9)	中西 夏之	コンパクト・オブジェ	1968
(10)	菊畑 茂久馬	ルーレット	1963
(11)	三木 富雄	耳	1964-65

(12)	高松 次郎	影の圧搾	1965
8	開館35周年記念 福田美蘭—美術って、なに？ 貸出先 名古屋市美術館 貸出期間 2023/9/23～11/19		
(1)	福田 美蘭	幼児キリストから見た聖アンナと聖母	1992
(2)	福田 美蘭	侍女ドーニャ・マリア・アウグスティーナから見た王女マルガリータ、ドーニャ・イサベル・ベラスコ、矮人マリア・バルボラ、矮人ニコラシート・ペルトゥサートと犬	1992
(3)	福田 美蘭	ゼフィロスから見たクロリスとフローラと三美神	1992
(4)	福田 美蘭	帽子を被った男性から見た草上の二人	1992
(5)	福田 美蘭	春景山水図	2016
(6)	福田 美蘭	夏景山水図	2016
(7)	福田 美蘭	秋景山水図	2016
(8)	福田 美蘭	冬景山水図	2016
(9)	福田 美蘭	慧可断臂図 折かわり絵 (4枚組)	2016
9	第30回平櫛田中賞受賞記念展 棚田康司—線上に幅を 空間に愛を— 貸出先 井原市立平櫛田中美術館 貸出期間 2023/10/6～11/26		
(1)	棚田 康司	木の花は星形の台に立つ	2014
10	蒟醬の軌跡をたどる 磯井正美展 貸出先： 香川県漆芸研究所 貸出期間 2023/12/21～2024/1/28		
(1)	磯井 正美	蒟醬 むらさき 箱	1990
11	回復する 貸出 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 貸出期間 2023/12/23～2024/3/10		
(1)	大岩 オスカル	虹	2003
12	アブソリュート・チェアーズ 貸出先 埼玉県立近代美術館 貸出期間 2024/2/17～5/12 愛知県美術館 2024/7/18～9/23		
(1)	フランシス・ベーコン	座れる人物	1983
(2)	フランシス・ベーコン	Triptych (3連画) 1974-77	1983
(3)	草間 彌生	無題 (金色の椅子のオブジェ)	1966

エ 作品図版掲載実績

北澤憲昭著『増補改訂 境界の美術史 「美術」形成史ノート』に諏訪直樹作《THE ALPHA AND THE OMEGA S-1》への掲載を始め、5媒体に5作品の図版が掲載された。

1	北澤憲昭 『増補改訂 境界の美術史 「美術」形成史ノート』 筑摩書房、2023年9月10日発行		
(1)	諏訪 直樹	THE ALPHA AND THE OMEGA S-1	1978
2	工藤香澄監修 『芥川紗織の生涯と作品』 東京新聞、2024年5月発行 (予定)		
(1)	芥川 (間所) 沙織	神話・神々のタンジョウ	1956
3	「芸術新潮」2024年2月号、新潮社、2024年2月25日発行		
(1)	工藤 哲巳	マザー・コンプレックス・パラダイス	1980
4	NHK 番組 「びじゅチューン！ #86 電気さえあれば」「MIXびじゅチューン！ #12 光の演出」		
(1)	田中 敦子	電気服	1956/86
5	新畑 (金澤) 清恵 「福島秀子の批評とその作品—スタンピングを手掛かりとして」 『2023年度 東京都現代美術館年報 研究紀要 第26号』 東京都現代美術館、2024年3月発		

	行		
(1)	福島 秀子	作品 109	1959

(6) 美術館ボランティアの活動

ア 美術館ボランティア

市民の美術活動の支援と展覧会観覧者の利便を図るため、美術館ボランティアc i v i (シヴィ)を設置し、平成11年度から活動を行っている(令和5年度登録者数18人)。

イ 美術館ボランティアによるギャラリートーク

特別展	開催回数(回)	参加者数(人)
フィンランドのライフスタイル	6	141
上田薫展	7	142
上田薫展 *おしゃべり鑑賞会	2	32
国立美術館巡回展	6	118
国立美術館巡回展 *おしゃべり鑑賞会	2	28
川瀬巴水展	5	276
合 計	28	737

※参加者数は展覧会入場者数と重複

(7) 高松市美術館サポートショップ事業

高松市中央商店街等周辺店舗と連携し、周辺の活性化及び美術館来館者の増加を目指すことを目的として、平成24年度から実施している。

美術館は、店舗を利用又は訪問した方々に渡すための割引券(特別展を2割引で鑑賞可)を店舗に提供する。(割引券を利用して観覧した人 345人)

また、店舗の一部においては、特別展の半券又は有効期間中の定期観覧券を提示することで、商品割引等が受けられる独自特典を提供する。

令和3年度からは、各商店街組合の協力の下、加盟店舗への展覧会チラシの一斉配布を行い、高松市中央商店街との一層の連携強化に努めた。

令和5年度の展覧会チラシ、サポートショップ割引券の配布対象店舗(商店街組合加盟店)は約740店舗。サポートショップ加盟店舗(商店街組合非加盟店も含む)は34店舗。

(8) ブランチギャラリー

高松丸亀町商店街振興組合と連携し、高松丸亀町商店街に移転オープンした「しごとプラザ」のショーウィンドーにおいて、高松市美術館の新しい展示空間「ブランチギャラリー」を令和3年3月13日に開設し、高松市美術館と高松市塩江美術館両館の展覧会関連やゆかりの展示を企画した。

展覧会名	会期
小豆島町立小豆島中学校芸術部「地球の宝」	2/26(日)～4/9(日)
フィンランドのライフスタイル展関連展示「A place for good news」	4/15(土)～6/11(日)
「G7 香川・高松都市大臣会合」関連展示(藤浩志作品展示)	6/12(月)～7/21(金)
特別企画「小川信治展 Better Half 回帰の手法」	7/22(土)～9/18(日)
高松市美術館開館35周年記念 特別企画「川島猛展」	9/19(月)～11/12(日)
三村昌道展「Time to be in the snow」	11/12(月)～1/8(月・祝) *展示替有り
辻野由樹展「エト」	1/9(火)～3/1(金)

(9) 新型コロナウイルス感染症対策

基本的な感染対策を講じながらの運営に努めた。(休館・休室は無し)

(10) ICTの活用

SNSのフォロワー数 (令和6年3月31日現在)

・Facebook	1, 233人
・X(旧Twitter)	2, 015人
・YouTube	465人
・Instagram	5, 195人

(11) キャッシュレス化

市民サービスの向上及び新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和4年3月1日からキャッシュレス決済システムを導入した。観覧料や図録代金等の支払の際に、クレジットカードや電子マネーの利用が可能となっている。(キャッシュレス決済利用率：30.8%)

(12) 自己評価

令和5年度の事業活動や運営についての振り返りを行うため、公益財団法人日本博物館協会がインターネット上でサービスを提供している「博物館自己点検システム」による自己評価を行った。(システムは現在リニューアルのためサービスを休止中)

結果は下記のとおりであり、合計、評価領域毎ともに、全国平均を上回った。

【結果】

(令和6年4月)

領 域	項目数	高松市 美術館	博物館全体 の平均※	美術館 の平均※	市立の館 の平均※	大規模館 の平均※
A 館長・館の経営責任	15	12	8.0	8.4	7.6	9.6
B 利用者・市民・地域との関係	14	14	7.5	8.1	7.2	9.1
C 展示	15	15	8.9	10.4	8.5	10.8
D 教育普及	14	13	7.5	7.3	7.4	9.7
E 学芸員・一般職員	10	8	5.9	6.5	5.8	6.9
F 調査研究	9	7	4.8	4.7	4.5	5.8
G 資料・コレクション	16	15	8.8	10.5	8.4	9.9
H 施設・アメニティー	17	17	10.3	11.2	9.5	12.4
合計	110	101	61.7	67.1	58.9	74.2

※の数値は令和5年度に「博物館自己点検システム」で公表されていた数値

大規模館は常勤職員 10人以上

(13) 「瀬戸芸美術館連携」プロジェクト

瀬戸内国際芸術祭2025の広域連携事業として開催される「瀬戸芸美術館連携」プロジェクトで、令和5年度に実行委員会(事務局：公益財団法人 福武財団)が発足し、高松市美術館は瀬戸内の7つの美術館とともに参加した。

同プロジェクトは、令和7年度に大阪・関西万博を訪れる国内外の来場者を瀬戸内に誘引することを企画し、瀬戸芸会期中に参加各館で日本の現代アーティストの展覧会を開催するなどしてメッセージを発信するもの。

令和5年度は、各美術館を周遊するインバウンド向けのテストツアーが実施されるとともに、高松市美術館では11月18日に、ツアー客に対し開催中の展覧会のギャラリートークを行った。

2 高松市塩江美術館

年間利用者数等 16, 118人 (開館日数 308日)

(1) 展覧会・貸館

美術館主催事業として企画展及び常設展を開催するとともに、企画展示室・ホールを貸館として個展等の利用に供した。

ア 展覧会

・開催展数 10展(企画展 7展、常設展 3展)

・開催日数 542日

・入場者数 15, 254人(1日平均 28.1人)

(ア) 企画展

・開催展数 7展

・開催日数 261日

・入場者数 7, 666人(1日平均 29.4人)

展覧会名	会期	日数(日)	入場者数(人)	展覧会の内容
1 GrandpaとGrandson ー南岳と桓夫ー	4/15(土) ～5/28(日)	38	535	東かがわ市出身の漢学者・藤澤南岳と、南岳の孫であり、著名な小説家・藤澤桓夫。2人の書を紹介した。
2 後藤健吉 朝子展 モノクロームの光	6/6(火) ～7/17 (月・祝)	37	739	漆芸家・後藤健吉とオリジナルの手法を用いて空間造形する後藤朝子による光をキーワードにした展覧会を開催した。平蒔絵という技法を用いた健吉の漆作品と禅僧・仙厓義梵の書画「○△□」にちなみ、現実の風景に○と△と□を見つけた写真作品と禅画「十牛図」にちなんだ朝子の立体作品を紹介した。
3 あそびにおいでよ！ ～2023夏休み 大島 よしふみ彫刻展～	7/25(火) ～9/3(日)	36	1,743	大島よしふみが「楽しさ」を追求しつつ作成した昆虫などの作品が並び、故郷で過ごした夏の1日を切り取ったかのような空間を再現した。
4 Birth…then…Full ～すべては、その一 滴から～ ーガラス 作家 杉山利恵展ー	9/12(火) ～10/22(日)	36	2,509	ガラス作家・杉山利恵が、庵治石を溶かしたブルーのガラスと、オリーブを溶かしたグリーンのガラスを用いて表現した作品18点を紹介した。
5 第37回思可牟展	10/31(火) ～12/10(日)	36	1,124	京都市立芸術大学を卒業した香川県出身若しくは、在住の作家で構成された美術グループ「思可牟」による展覧会。日本画、陶芸、立体などの作品37点を紹介した。
6 女性を描く	12/19(火) ～2/4(日)	37	388	所蔵作品の中から、4人の画家たちが女性を描いた作品に焦て、それぞれの女性の描き方の特徴について紹介した。
7 生きるバランス ー画家 杉本羽衣展 ー	2/14(水) ～3/31(日)	41	628	画家・杉本羽衣が、作家として母として、そして一人の人間として自分らしくあろうとしつつ制作した新作を含む作品26点を紹介した。

※ 「あそびにおいでよ！～2023夏休み 大島よしふみ彫刻展～」会期中、8月15日は台風接近に伴う警報発令のため臨時休館

(イ) 常設展

美術館の所蔵品のうち、テーマを設定して年間3回の入れ替えで展示。

・ 開催日数 281日

・ 入場者数 7,588人(1日平均 27人)

展覧会名	会期	日数(日)	入場者数(人)	展覧会の内容
※令和4年度 第Ⅲ期 香川の作家シリーズ③ 池田利夫／木版画に 魅せられて	4/1(土) ～4/16(日) *会期は令和4年 12/6(火) から	14	267	香川県在住の池田利夫が制作した木版画作品の中から「身近な植物」をモチーフに制作して生物学的知識や歴史的背景が盛りこまれた作品を紹介した。
令和5年度 第Ⅰ期 鉛筆と淡彩で描く世界 ー伊藤義久展ー	4/25(火) ～8/6(日)	90	1,889	伊藤義久(1917～2003)の水彩の中でも特に淡い色を用いて、透明感のある風景画作品24点を紹介した。
令和5年度 第Ⅱ期 字をじっと見る	8/26(土) ～11/26(日)	80	4,224	東アジア文化圏の文化の根幹である漢字、そして漢字から作られた仮名に焦点をあてた作品27点を紹介した。
※令和5年度 第Ⅲ期 風景の切りとり方	12/5(火) ～3/31(日) *会期は令和6年 4/14(日) まで	97	1,208	写真家比嘉良治、所幸則の作品と、講師に吉川直哉、田中勝次、川島猛らを迎え1993年に始まった「日米ヤングアーティストフェスティバル in しおのえ」の出品者による作品25点を紹介した。

※年度をまたいでの開催(年度別の実績)

イ 貸館事業

美術団体、個人や小グループ等の作品発表の場等として、企画展示室・ホールを提供した。

行 事 名	開催日	貸出場所	入場者数(人)
佐藤丈史 「さくらコンサート～春のそよかぜとともに～」 (主催 一般社団法人オレンジ音楽協会)	4/8(土)	ホール	63
作品撮影	2/6(火)	企画展示室	1

(2) 教育普及活動

企画展に合わせたワークショップや陶芸教室、風鈴づくり教室等を開講した。

ア ワークショップ等

タイトル	開催日	講 師	内 容	参加者数(人)
キュレーターズトーク	4/29(土・祝) 5/6(土)	当館学芸員	担当学芸員による作品解説	4
企画展関連ワークショップ 「見て、感じて、描いて！リフレッシュしま書♪」	4/30(日)	岡本由貴子 (臨床美術士)	磨墨した墨で作品を制作	6
ワークショップ「アルコールインクアートで作品を作ろう！」	5/3(水・祝)	郷祥(書家)	アルコールインクを使って作品を制作	13
ワークショップ「自由にライブペイントをしてみよう！」	5/4(木・祝)	松山真理(画家)	音楽から得たインスピレーションで絵を描く	9

ワークショップ「キーアクセサリーを作ろう！」	5/5(金・祝)	当館職員	真鍮でキーアクセサリーを制作	15
アーティスト・レクチャー	6/17(土)	後藤健吉(漆芸家) 後藤朝子(美術家)	企画展出品作家による作品解説	43
企画展関連ワークショップ「僕の・私の夏休み！」	8/6(日)	大島よしふみ(彫刻家)	夏休みの思い出などを飛び出す絵で制作	17
企画展関連ワークショップ「フュージングでガラスの小物をつくってみよう！」	9/30(土) 10/1(日)	杉山利恵(ガラス作家)	様々なガラスを組み合わせてデザインしアクセサリーなどを制作	21
企画展関連ワークショップ「塩江の秋を持ち帰ろう！」	11/19(日)	川崎まゆ子(画家)	落ち葉などをラミネート紙に並べて作品を制作	9
企画展関連ワークショップ「ヒカリノエ」	11/23(木・祝)	長谷川隆子(切り絵作家)	アクリル板に光を透過する特殊な素材を使って透けて美しいヒカリの絵を制作	8
キュレーターズトーク	12/23(土) 1/13(土)	当館学芸員	担当学芸員による作品解説	2
企画展関連ワークショップ「表現を楽しもう♪」	12/24(日)	当館学芸員	テーマを設け、踊ったり描いたりして自分自身の表現を楽しむ	1
企画展関連トークセッション「表現する対象を考える」	1/20(土)	松山真理(画家) 早瀬太亮(現代美術家) 当館学芸員	表現する対象についてそれぞれの視点から語る	11
アーティスト・レクチャー	3/20(水・祝)	杉本羽衣(画家)	企画展出品作家による作品解説	25
合計				184

イ 陶芸教室

タイトル	開催日	講師	内 容	受講者数(人)
夏の風鈴づくり教室	7/16(日)・ 17(月・祝)	貴志勉(陶芸家)	陶土を使用したオリジナルの風鈴を制作(1日2回実施)	19
陶芸教室	9/2・9・16・30 10/7・14・21 11/14(土)	田淵太郎(陶芸家)	全8回の日程で受講者を募り、基礎コースと経験者コースに分かれて陶芸作品を制作	72
合計				91

ウ 美術館の日(8月第1土曜日)

市民がより美術に親しみ、豊かな心を育めるよう、また、高松市美術館が昭和63年8月6日(土)に開館したことにちなみ、8月の第1土曜日を「美術館の日」と定め(平成21年7月)、多くの市民が集い、楽しみ、にぎわう美術館となるよう観覧料の免除や、県内の中学校美術部員が考えたワークショップ「中学校美術部といっしょに塩江でものづくり!!」を実施した。(令和5年度は8月5日)

- ・常設展、企画展観覧者 246人 ※展覧会入場者数と重複
- ・ワークショップ参加者 240人

エ 博物館実習・インターンシップ・職場体験等

(3) 芸術的催し物

タイトル	開催日	出演	内容	入場者数(人)
高松アーティスト・イン・レジデンス2023関連イベント「ボロ人形つくっちゃおうの会」	11/18(土)	chihuako (ちうあこ)	古着古布で人形を制作	7
野村誠 記念パフォーマンスin 塩江美術館	11/19(日)	野村誠	高松市美術館「令和5年度 国立美術館巡回展20世紀 美術の冒険者たち」関連 イベントとして、ピアノ パフォーマンスを開催	20
合計				27

(4) 公有財産目的外使用(貸出)

行事名	貸出日	場所	入場者数(人)	内容
FLEAMARKET・MUSIC LIVE In Shionoe	3/30(土)	デッキ	252	カフェ主催によるフリーマーケットとミュージックライブを開催

(5) 美術資料の収集

ア 収集の方針

(ア) 香川県にゆかりのある作家の作品

(イ) 塩江に関する資料等

イ 美術資料等の収集

美術品の収集方針に基づき、当館に収蔵する美術品を計画的・系統的に購入・寄贈などにより美術品の収集に努める。

(単位:点)

区 分		洋画等	日本画	彫刻	工芸	書	その他	計
令和5年度 取得作品	購入	—	—	—	—	—	—	—
	寄贈	—	—	—	—	—	—	—
累 計		673	7	12	14	119	459	1,284
内 訳	購入	47	—	6	8	—	1	62
	寄贈	626	7	6	6	119	458	1,222

※その他(写真、熊野俊一資料、藤澤東峯関連書籍、芸術祭作品)

(6) 新型コロナウイルス感染症対策

基本的な感染対策を講じながらの運営に努めた。(休館・休室は無し)

(7) 自己評価

令和5年度の事業活動や運営についての振り返りを行うため、公益財団法人日本博物館協会がインターネット上でサービスを提供している「博物館自己点検システム」による自己評価を行った。(システムは現在リニューアルのためサービスを休止中)

結果は下記のとおりであり、合計では全国平均を上回ったが、「調査研究」領域では、博物館全体、美術館及び市立の館の全国平均を下回った。

【結果】

(令和6年4月)

領 域	項目数	高松市 塩江美術館	博物館全体 の平均※	美術館 の平均※	市立の館 の平均※	小規模館 の平均※
A 館長・館の経営責任	15	12	8.0	8.4	7.6	6.5
B 利用者・市民・地域 との関係	14	12	7.5	8.1	7.2	6.0
C 展示	15	11	8.9	10.4	8.5	7.3
D 教育普及	14	11	7.5	7.3	7.4	5.7
E 学芸員・一般職員	10	7	5.9	6.5	5.8	4.7
F 調査研究	9	4	4.8	4.7	4.5	3.8
G 資料・コレクション	16	14	8.8	10.5	8.4	7.8
H 施設・アメニティー	17	14	10.3	11.2	9.5	8.5
合計	110	85	61.7	67.1	58.9	50.3

※の数値は令和5年度に「博物館自己点検システム」で公表されていた数値

小規模館は常勤職員 5人未満

令和6年度事業計画

1 高松市立美術館運営方針

(1) 上位計画との整合性

第6次高松市総合計画及び第2期高松市文化芸術振興計画との整合性を図る。

(2) 方針

高松市立美術館は、「創造都市高松の文化芸術の拠点として、市民に必要とされ、かつ、市民を始め、国内外の人々に親しまれ創造性あふれる美術館」を目指す。

そのため、「高松市の美術館としての独自性や創造性を生かしつつ効率的な運営」をする。

(3) 策定の経緯

平成19年10月 「美術館のあり方検討委員会」設置

美術の今後の運営とあるべき姿について検討

平成20年2月 「美術館のあり方に関する提言書」取りまとめ

「市民に親しまれ魅力ある美術館づくり」と「美術館の効率的な運営」

平成21年3月 「高松市立美術館(*)の今後の運営方針」策定

(*) 高松市美術館及び高松市塩江美術館の総称

平成27年1月 高松市美術館大規模改修工事

(約1年間) 「文化芸術の発信拠点としての機能強化」

平成28年4月 「高松市立美術館運営方針」策定

令和3年4月 「高松市立美術館運営方針」改定

令和8年4月 「高松市立美術館運営方針」改定(予定)

継続する主な取組(H28.4~)

展覧会の充実

(1) 巡回展

幅広い分野から集客性や先進性等のバランスに配慮

(2) 現代アート展

瀬戸内国際芸術祭との連携

新しい世代のアーティストを含めた作家の紹介(アニュアル展)

(3) コレクション展

当館コレクションと関連アーティストを組み合わせで紹介

今後とも、より魅力的な展覧会の企画に取り組むとともに、積極的な情報発信を行う。

教育普及

各講座や市政出前ふれあいトーク等の実施、こどもアートスペース等の活用

今後とも、積極的な情報発信を行い、幅広い年齢層の方に美術に親しんでいただく。

美術品の収集・保管

収蔵美術品が、国内外の美術館に貸し出されているとともに、教科書を始め各種出版物への掲載依頼があるなど、高い評価を得ている。

今後も引き続き、取得方針を踏まえた美術品の収集と保管に努め、展覧会において展示を行い広く市民の方の鑑賞に供していく。

新たな主な取組（R3.4～）

ICTの活用

- （１） 動画配信
動画配信により、新たな美術品鑑賞等の機会を提供する。
- （２） SNSの活用
Facebook、Instagram等を活用した、効果的な情報発信を行う。
- （３） Wi-Fi環境の再構築
令和6年度下半期より館内のWi-Fiエリアを拡大し、利用者の利便性向上等につなげる。

学校との連携強化

小中学校(瀬戸・高松広域連携中枢都市圏内を含む)への展覧会案内に加え、美術館学習やオンライン授業の開催など。

エントランスホールの活用

展覧会行事や友の会コンサート等に加え、公募によるコンサート等の開催。

キャッシュレス化

観覧料等の納付について、クレジットカード等を利用したキャッシュレス決済に対応。

2 高松市美術館

国内外の優れた美術作品の展覧会の充実、系統的な美術品の収集を進めるとともに、ワークショップや講座等、子どもたちが豊かな感性を育むことができる教育普及事業の充実に取り組んでいく。

また、中心商店街に近接した都市型美術館という立地条件を生かし、地域との連携の強化により、まちづくりと一体となった取組を進め、都市機能の向上に寄与する美術館を目指す。

更には、誰もが来館しやすく魅力ある美術館とするため、エントランスホールの活用の充実など各事業に積極的に取り組む。

（１）展覧会・貸館

ア 特別展

展覧会名	会期	日数(日)	内容
日本の巨大ロボット群像 ー巨大ロボットアニメ、そのデザインと映像表現	4/20(土) ～6/16(日)	50	『鉄人28号』(1963年)をロボットアニメの嚆矢として、その後『マジンガーZ』(1972年)の大ヒット、そしてロボットアニメの流れに新風を吹き込んだ『機動戦士ガンダム』(1979年)の影響下、現在に至るまで多数のロボットアニメが制作され、魅力的なロボットがデザインされてきた。本展では、『鉄人28号』から近年のロボットアニメにおけるロボットのデザインとその映像表現の歴史を検証し、その魅力に迫る。

谷川俊太郎展 絵本★百貨展	7/20(土) ～9/16 (月・祝)	51	現代日本を代表する詩人・谷川俊太郎（1931年～）は、1960年代から現在まで、100名以上のイラストレーターやアーティストたちと200冊にも及び絵本を制作してきた。ことばあそび、ナンセンスの楽しみから、生と死、戦争まで、そのバラエティ豊かな絵本には一貫して読み手に対する谷川の希望の眼差しが向けられている。 本展では、多彩なクリエイターとともに、原画を始め、映像や音、インスタレーション作品などを交えながら約20冊の絵本の世界を紹介する。
五大浮世絵師展 —歌麿・写楽・北斎・ 広重・国芳—	10/12(土) ～12/8(日)	50	女性を優麗に描いた喜多川歌麿、劇的な役者絵で人気を博した東洲斎写楽、風景・花鳥・人物と森羅万象を独自に表現した葛飾北斎、名所絵を中心に浮世絵に新風を吹き込んだ歌川広重。浮世絵が最も成熟し、黄金期と呼ばれた天明・寛政期(1772～1801年)に活躍した四大スターに加え、幕末期そのユーモラスな画風で大いに存在感を発揮した歌川国芳。美人画、役者絵、風景画など各分野で人気を博した五大浮世絵師の代表作を中心に約140点を紹介する。
高松コンテンポラリー アート・アニュアル vol.12	2/1(土) ～3/16(日)	38	本展覧会シリーズではこれまで、独創性、創造性のある現代美術作家をグループ展形式で紹介し、新しい芸術表現を高松から発信してきた。13回目となる今回は、横山翔平（1985年岡山生まれ）を始め、それぞれの視点から自分自身につながる作品を生み出す作家たちを紹介する。また、アーティストトークなどのイベントも開催する。
4 展覧会		189	

イ コレクション展

展覧会名	会期	日数(日)	内容
第1期	4/6(土) ～7/7(日)	80	展示室1 うつしとる—光・時間・情報・動き 展示室2 讃岐漆芸が見せる自然美
第2期	7/13(土) ～9/29(日)	68	展示室1 [現代の美術] 私たちの生きる時代を感じさせる戦後日本の美術、また、これに関連のある20世紀以降の世界の美術を順次展示。
第3期	10/2(水) ～12/26(木)	74	展示室2 [讃岐漆芸と金工] 玉楮象谷に始まる讃岐漆芸、北原千鹿を中心とする金工の流れを中心に展示。
第4期	1/7(火) ～3/30(土)	70	※3/8～3/30の期間は、常設展示室1において「第42回日本伝統漆芸展」を開催。
4 期		292	

ウ 貸館

美術団体、個人や小グループ等の作品発表の場として、一般展示室・企画展示室及び市民ギャラリー・講堂を提供する。

(2) 教育普及活動等

主催特別展の開催に併せて、展示のテーマに沿った記念講演会やミニコンサートなどを開催するほか、教育普及活動を行うもの。

ア 講演会等の開催

イ アートアドバイザー講座

当館アートアドバイザーによる講座を実施（年間6回）

Vol.	開催日等	テーマ
3	5/11(土)	映像とメディアアート ～近年収蔵したコレクションを中心に
4	6/8(土)	美術館ってどんなところ？
5	8/10(土)	もじとことばのアート
6～8	10・12・3月（予定）	未定

ウ ギャラリートーク

エ ワークショップ

地元講師や県外講師によるワークショップを随時開催する。

オ 子どものアトリエ

美術作家による子ども対象の美術講座を開催し、学校の図画工作の授業とはまた違った環境での美術体験を提供する。

カ ふらっとアート

リニューアルオープンにより新設された「こども^{プラス}（こどもアートスペース）」を活用し、「ふらっとアート」など、誰もが気軽にアートを楽しむことができるプログラムを提供する。

キ 出前講座等

当館学芸員が施設や学校等に出向き、「アートで遊ぼう」や「出張美術館」等を実施する。

ク 美術館学習

展覧会の鑑賞教育等学校活動分野の積極的な活用を図るために、サンクリスタル学習参加校のうち、希望校を美術館でも受け入れる美術館学習を実施する。

ケ 美術館の日（8月第1土曜日）

市民がより美術に親しみ、豊かな心を育めるよう、また、高松市美術館が昭和63年8月6日（土）に開館したことにちなみ、8月の第1土曜日を「美術館の日」と定め（平成21年7月）、多くの市民が集い、楽しみ、にぎわう美術館となるよう観覧料の免除や親子で楽しめるイベントなどを実施する。（令和6年度は8月3日）

コ 博物館実習・インターンシップ・職場体験等

(3) 施設の提供

美術館の講堂を講演会、コンサート等の会場に、講座室を創作活動の場として利用に供するほか、エントランスホールを作品展示やコンサート等に活用する。

(4) 美術資料の収集・公開

美術品の取得方針に基づき、美術館に収蔵する美術品の収集に努める。また、美術館の二次資料として美術図書及び映像資料を継続的に収集するとともに、高松市収蔵品情報システムの活用等によりこれら収蔵資料の積極的な公開に努める。

- (5) 美術館ボランティアの活動
市民の美術活動の支援と展覧会観覧者の利便を図るため、美術館ボランティアc i v i(シヴィ)によるギャラリートークを実施するとともに、子どものアトリエ等のワークショップの補助を行う。
- (6) 高松市美術館サポートショップ事業
高松市中央商店街等周辺店舗と連携し、周辺の活性化及び美術館来館者の増加を目指すことを目的として実施している。
美術館は、店舗を利用又は訪問した方々に渡すための割引券(特別展を2割引で鑑賞可)を店舗に提供する。また、店舗の一部においては、特別展の半券又は有効期間中の定期観覧券を提示することで、商品割引等が受けられる独自特典を提供するなど、提携事業を実施する。
また、各商店街組合事務所の協力の下、商店街組合加盟店舗への展覧会チラシの一斉配布を行い、高松市中央商店街との一層の連携強化に努める。
- (7) ブランチギャラリー
高松丸亀町商店街組合との連携事業として、高松丸亀町商店街の「しごとプラザ」ショーウィンドーに開設中の「ブランチギャラリー」において、年間を通して特別展等と連携するなど多彩な展示を行う。
- (8) ICTの活用
美術館独自のSNS(Facebook、X(旧Twitter)、Instagram)及びYouTubeによる動画配信等の積極的な活用により、効果的な情報発信を行う。(SNSは令和元年度から、YouTubeは2年度から実施)
また、令和6年度下半期から、館内Wi-Fiエリアを1階講堂、常設展示室及び2階一般・企画展示室に拡大予定。
- (9) 「瀬戸芸美術館連携」プロジェクト
令和5年度に瀬戸内の7つの美術館とともに参加しスタートした「瀬戸芸美術館連携」プロジェクト(事務局:公益財団法人 福武財団)として、7年度に開催予定の現代アート展に関連するワークショップやインバウンド向けツアーへの展覧会でのギャラリートークなどを実施。

3 高松市塩江美術館

山間の豊かな自然環境に立地する地域特性をいかした、芸術・文化を楽しむ空間作りを目指し、展覧会の充実や地域に根ざした取組を進める。

(1) 展覧会・貸館

ア 展覧会

(ア) 企画展

展覧会名		会 期	日数(日)	展覧会の内容
1	茂呂毅 写真展 Benign Neglect —ジャパニーズ アメ リカン ボンサイ	4/13(土) ～5/26(日)	38	第二次世界大戦中、強制収容を経験した日系アメリカ人の心の拠りどころとして始められた盆栽も月日が経つにつれ、忘れさられ枯れていくものもあったが、一人の日系アメリカ人の手によって一部が生き返り始めた。このような再生する盆栽を見て、サンフランシスコを拠点に制作活動をしている写真家・茂呂毅(1978～)が、移り行く盆栽の命の意味を考え写真に残した作品を紹介する。
2	渋谷薫展 Sea Sky Nature	6/4(火) ～7/21(日)	42	香川県在住の現代美術家・渋谷薫(1980～)は、「世界は音でつながっている」という独自の考えを元にのびやかで見えるものを心躍らせる作品を制作している。本展では、当館が開館するきっかけとなった画家・熊野俊一(1908～2005)の作品に感銘を受けた渋谷が、熊野の作品に感化されて生まれた新作を始め約30点を紹介する。
3	福井一真展 cubeforest	7/30(火) ～9/8(日)	36	立体造形作家・福井一真(1979～)は「構造」に興味を持つことで、制作した後の発見が次につながると考える。本展では、「四方十字組手」を用いることにより生成される木を素材とした立方体造形作品等を紹介する。
4	早瀬太亮展(仮)	9/15(日) ～10/27(日)	37	徳島県在住の現代美術家・早瀬太亮は「チャレンジとくしま芸術祭」の展示部門で2020年から3年連続グランプリを受賞するなど地元根ざした制作活動をしている。本展では、インスタレーションを用いて塩江を表現していく。
5	陶芸家・田淵太郎× 画家・岡本尚子展 SCENERY(仮)	11/2(土) ～12/15(日)	38	塩江で窯を持つ陶芸家・田淵太郎(1977～)は、シンプルな形に、焼成時の目に見えない、人間が操れない自然の力をプラスさせた作品を生み出す。一方、画家・岡本尚子(1979～)は、「物事の捉え方」に重点を置いて制作している。本展では、田淵の作品と田淵の作品を描いた岡本の作品を併せて紹介する。
6	太田剛展(仮)	12/21(土) ～2/9(日)	39	書家・太田剛(1960～)が、「伝える」をテーマに次世代に伝えたいメッセージを書でしたためた作品を紹介する。
7	コレクション展(仮)	2/18(火) ～3/16(日)	24	当館収蔵品の中からテーマを設けて作品を紹介する。

(イ) 常設展(3期)

美術館の所蔵品のうち、テーマを設定して年間3回の入替えて展示する。

展覧会名	会期	日数(日)	展覧会の内容
令和5年度第Ⅲ期 風景の切りとり方	4/2(火) ～4/14(日) *令和5年 12/5(火)から	11	写真家はどのように風景を切りとっているのか。構図、構成、写真とは何かなどを考察する。
令和6年度第Ⅰ期 はじまりを新しむⅠ 熊野俊一を知る	4/23(火) ～8/25(日)	108	熊野俊一の渡欧以前の初期作品と開館始動時に収蔵された国内のアーティストの作品30点を紹介する。
令和6年度第Ⅱ期	9/3(火) ～12/22(日)	96	当館収蔵品の中からテーマを設けて作品を紹介します。
※令和6年度第Ⅲ期	1/4(土) ～3/30(日) *令和7年 4/13(日)まで	74	当館収蔵品の中からテーマを設けて作品を紹介します。

※年度をまたいで開催（日数区切り）

イ 貸館事業

美術団体、個人や小グループ等の作品発表の場として、企画展示室・ホールを提供する。

貸出場所	行 事 名	会 期	内 容
ホール	Ordinariness —a Turning point	4/3(水)～4/7(日)	ミクストメディア絵画展
ホール・ 企画展示室	宴計画実行委員会による個展(仮)	3/19(水)～3/30(日)	陶芸・日本画の展示

(2) 教育普及活動

企画展に合わせたワークショップを開催するほか、陶芸教室や風鈴づくり教室等を開講する。

ア ワークショップ等

企画展に合わせたワークショップや出品作家によるアーティストレクチャー、担当学芸員による作品解説等、併せて開館30周年関連ワークショップを開催する。

イ 陶芸教室

タイトル	開催月日	講師	内容
夏の風鈴づくり教室	7/20(土)・28(日)	貴志勉 (陶芸家)	陶土を使用したオリジナルの風鈴を制作する。各日2回。
陶芸教室	9月上旬～11月上旬 (各日土曜日)	田淵太郎 (陶芸家)	全8回の日程で基礎コースと経験者コースに分かれて陶芸作品を制作する。

ウ 美術館の日（8月第1土曜日）

市民がより美術に親しみ、豊かな心を育めるよう、また、高松市美術館が昭和63年8月6日(土)に開館したことにちなみ、8月の第1土曜日を「美術館の日」と定め(平成21年7月)、多くの市民が集い、楽しみ、にぎわう美術館となるよう観覧料の免除や、中学校美術部員によるワークショップを実施する。(令和6年度は8月3日)

エ 博物館実習・インターンシップ・職場体験等

(3) 芸術的催し物

コンサートなど他分野におけるアートイベントを開催する。

(4) 公有財産目的外使用(貸出)

喫茶室の営業、美術館のデッキ等の貸出

4 令和6年度予算

(1) 歳入

(単位：千円)

区 分			令和6年度	令和5年度	対前年比
使用料及び 手数料	使用料	美術館展覧会等観覧料	41,714	31,617	131.9%
		美術館使用料	11,600	11,633	99.7%
	手数料	美術品等撮影許可手数料	65	65	100.0%
財産収入	財産運用収入	基金運用収入	2	2	100.0%
	財産売払収入	物品売払収入	623	1,910	32.6%
繰入金	基金繰入金	塩江美術館美術品等取得基金繰入金	500	0	—
諸収入	雑入	社会教育費収入	11,733	13,233	88.7%
計			66,237	58,460	113.3%

(2) 歳出

(単位：千円)

区 分	令和6年度	令和5年度	対前年比
美術館運営費 人件費（会計年度フルタイム・パートタイムほか） 各種機器リース料、消耗品費ほか	43,685	37,639	116.1%
美術館管理費 光熱水費、電話料、施設修繕料 各種委託料（警備・設備運転・空調保守・清掃）ほか	129,758	132,623	97.8%
展覧会費 高松市美術館 特別展費及び常設展費 塩江美術館 展示費	69,832	59,725	116.9%
美術教育普及費 ワークショップ開催費（両館）、ミニコンサート経費 こどもアートスペース材料費ほか	1,480	1,480	100.0%
美術資料収集費 美術品購入費及び補修費 収集審査委員会経費	12,193	12,061	101.1%
塩江美術館美術品等取得基金積立金 運用利息分	2	2	100.0%
計	256,950	243,530	105.5%